

## 第22回 奥むさし駅伝競走大会

### 【出場結果】

実施日 : 1月28日(日) 9:00スタート  
コース : 東飯能駅西口前～西吾野駅前折返し～飯能市内銀座通り(きもの処かきぬま前)  
総距離 : 6区間 38.8km  
成績 : 1時間59分44秒 7/112位

出場者・リザルト :

|         |       |         |        |
|---------|-------|---------|--------|
| 1区9.9km | 坪井 響己 | 8/112位  | 30'20" |
| 2区5.5km | 小野 修平 | 25/112位 | 18'16" |
| 3区4.3km | 田中 龍誠 | 11/112位 | 13'30" |
| 4区4.5km | 小林 航央 | 3/112位  | 13'07" |
| 5区5.2km | 関口 大樹 | 4/112位  | 15'15" |
| 6区9.4km | 親崎 達朗 | 8/112位  | 29'16" |

### 【レポート】

新年初の駅伝として、飯能工場のある埼玉県飯能市で開催された奥むさし駅伝競走大会に出場しました。

飯能市には当社従業員の方々も多く在住しており、地域のチームや大会ボランティアとして、本大会にも参加、協力しております。

11月の東日本実業団駅伝後は奥むさし駅伝に目標を切り替えて、練習を重ねてきたものの、例年以上に故障者が続出し、大会欠場が危惧されましたが、何とかメンバーを揃えられる目処が立ち、昨年度の5位を上回る順位を目標としてレースに臨みました。



スタートの号砲を待つ1区の坪井

前日には強い北風が吹き、気象条件が心配されましたが、大会当日は風も止み、暖かな日差しが差し込む絶好のコンディションの中でレースがスタートしました。

1区には坪井を起用し、右膝に違和感を抱える中でのレースのため、序盤は第3集団の先頭で徐々に順位を上げていきましたが、中間地点を過ぎた辺りから脇腹の差し込みに襲われてペースを落とすと、以後はリズムを戻せずに区間8位で2区の小野に襷を渡しました。



1区 坪井



2区 小野

2区を任された小野は、年末から故障を抱え、1週間前から練習を再開したものの、脚に痛みを抱える中でのレースとなり、自重気味に走り出しました。

走り始めて序盤の1km過ぎからは大幅なペースダウンとなり、順位を10位に落としましたが、何とか最後まで走り切り、3区の田中に襷を渡しました。

昨年同様に3区を任された田中も、腰に痛みを抱えての出走となりましたが、得意の上りが続く区間で冷静にピッチを刻み、区間11位の走りで前方を走るチームとの差を縮めて4区の小林に襷を渡しました。

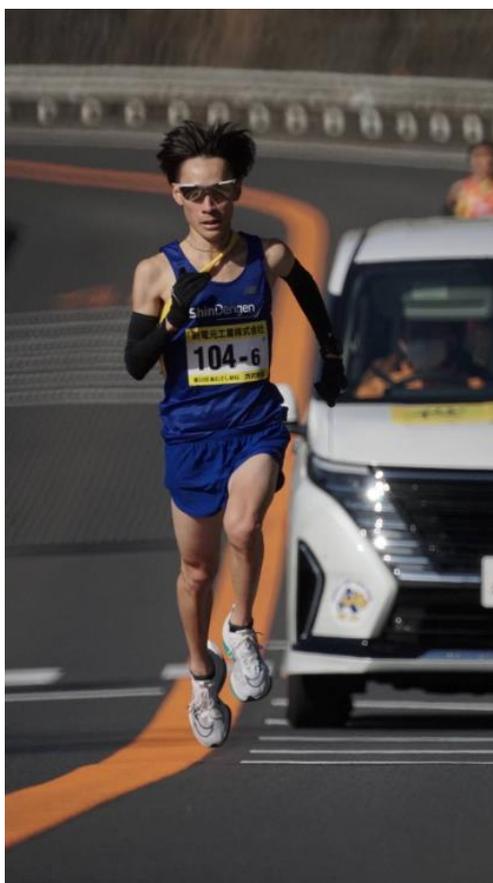
4区を任された小林は、下り基調のコースを力強い走りでピッチを刻み、早々に前方を走るチームを抜き去ってリズムに乗ると中盤以降も勢いのあるペースは衰えず、区間3位の好走を見せ、順位を9位に上げて、4区の関口に襷を渡しました。



得意のロードで好走をみせた関口

5区を任された関口は年末から好調を維持しており、得意のロードで自信を持ってスタートすると、軽快な足取りで前方を走る2チームを一気に捉え、そのまま最後までペースを落とすことなく走り切り、区間4位の好走で順位を7位に上げて6区の親崎へ襷を渡しました。

6区アンカーを任された親崎は、昨年も好走した区間で前方のチームを追い、なかなか距離を縮められず終盤は苦しい走りでしたが区間8位で走り、一般の部7位入賞でゴールしました。



前方のチームを必死に追う親崎



早朝から現地でのご声援を頂きました多くの皆様へ感謝申し上げます。

## 【総括】

チームとしては、11月の東日本実業団駅伝の結果から、今回の奥むさし駅伝と次週に行われる埼玉県駅伝、6月末に行われる男鹿駅伝で駅伝力を磨き、来年度の東日本実業団駅伝で勝負するという方針で取り組んできましたが、年末から故障者が続出し、奥むさし駅伝には選手が出場したいという思いから何とか出場は出来たものの、本来のチーム状況とは程遠い中でのレースとなりました。

結果としては満足するものではありませんが、故障を抱えながらも、レースに出場してくれた選手達のお蔭で、一般の部7位入賞でゴールすることが出来ました。

少数精鋭のチーム構成であるからこそ、今回のような状況を回避するには、控えの選手を含め、「全員駅伝」が出来るチームのボトムアップが不可欠となり、エース級の選手に頼るのではなく、チームに所属する選手全員が同じ気持ちで競技に向き合うことが今後の課題と捉えています。

最後になりますが、早朝から沿道でのご声援を頂きました田中社長をはじめとする役員の皆様、会社関係者の皆様、本大会の役員としてご尽力頂いた会社関係者の皆様には、あらためまして、チーム一同、御礼申し上げます。

以上

写真提供：新電元工業株式会社

坂本千夏様、佐藤圭一様